

明治神宮御苑は、明治神宮の境内で唯一神社建立以前から存在する場所です。様々な種類の花が見られる美しく平穏な庭園です。茶屋、池、四阿（あずまや）もあります。庭園の一番奥には、清正井（きよまさのいど）があり、人気のある場所です。

御苑は江戸時代には熊本藩主加藤家の私庭として利用されており、明治時代は代々木御苑と称されておりました。また、ここには菖蒲田もあり、昭憲皇太后が最も愛された場所のひとつあり、この場所が、天皇皇后両陛下をお祀りする神社建立の場所として選ばれたのです。

多種多様な植物や動物が生息しており、年中何か見どころがある御苑です。6月には菖蒲が満開になる時期で最も有名ですが、3月中旬からはヤマブキ、4月はツツジ、6月から9月は蓮の花、そして11月下旬は紅葉の季節、と、見どころたっぷりです。また、鳥類も一年を通して様々な種類が見られます。

庭園は年中無休です：

開苑情報

3月～10月 9時～16時半

6月 8時～17時（土曜と日曜は18時まで開苑）

11月～2月 9時～16時

御苑維持協力金：500円